

令和8年10月9～11日 学校法人電子学園 日本電子専門学校

日本職業教育学会 第7回（通算67回）大会

電子学園職業教育研究開発センター
JSSTVET2026大会実行委員会 編

JSSTVET2026大会 参加者各位

本学会は1960年の設立以来、教育機関・産業界・社会における職業・技術に関する教育・訓練を研究対象にし、職業教育研究の発展と研究者・実践者の交流に取り組んできました。

産業と社会の構造が大きく変化する今日、職業教育を巡る課題もまた、その領域と境界を大きく拡げています。生成AIをはじめとする技術革新、産業構造や職業の変容、人材不足、学び直しやリスキリングへの要請等を背景にし、学校教育と職業社会、教育と訓練、研究と実践をどう結び直してゆくかが改めて問われています。

こうした中で開催する**第7回（通算67回）大会**では、見学会・専門部会・自由研究発表・シンポジウム等、多様な機会を設けました。

各人が蓄積してきた研究成果や実践知を持ち寄り、領域や立場、世代を越えて相互に問い直すことは、個々の研究を深めるだけでなく、「職業教育学」として共有し得る知を育ててゆくことにも繋がるものと考えます。

本大会が、完成された成果を発表する場だけでなく、異なる視点との出会いから新たな問いが生れる場になることを期待します。

若手研究者を含む発表者の皆様には積極的な研究交流の機会として、参加者の皆様にはその各々の研究や教育・訓練の実践を新たな視角から捉え直す機会として、この3日間を十分に活用していただければ幸いです。

東京・新宿の地に集う皆様の間で、率直かつ活発な議論と、領域を越えた豊かな対話が交わされ、各々の研究と実践、そして職業教育研究の今後の発展に繋がることを願っています。

最後に、本大会の開催に際し、多大なるご理解とご協力を賜りました関係者の皆様に、心より御礼を申し上げます。

本大会が参加者の皆様にとって実り多きものになることを祈念します。

2026年9月1日

JSSTVET2026大会実行委員会
[事務局：jsstvet2026@denshi-core.org]

ご挨拶	1
目 次	2
日 程	3
会 場	4
見学会——企業視察	5
自由研究発表——分科会 A	6
自由研究発表——分科会 B	7
自由研究発表——分科会 C	8
自由研究発表——分科会 D	9
自由研究発表——分科会 E	10
専門部会——10月10日(土)	11
専門部会——10月11日(日)	12
シンポジウム	13
総会／懇親会	14
参加手続／留意事項	15

▼ 開催期間

2026年10月 9 日(金)～11日(日)

▼ タイムテーブル

日 時		次 第	会 場
第1日 (10月9日)	14:30～16:00	見 学 会	日本IBM本社（東京都港区） IBM Innovation Studio
	10:30～12:00	自由研究発表	本館 152・171・172 教室
	12:00～13:30	昼休憩*2	（本館4階 休憩室も利用可能です）
第2日 (10月10日) ※ 開場10:00*1	13:30～15:00	専門部会	本館 171・172 教室
	15:10～17:00	総 会	本館 1B11+1B12 教室
	17:30～19:30	懇 親 会	ホテルローズガーデン新宿 別館2階 ローズルーム
第3日 (10月11日) ※ 開場08:30*1	09:00～10:30	自由研究発表	本館 171・172 教室
	10:40～12:10	専門部会	本館 171・172 教室
	12:10～13:15	昼 休 憩	（本館4階 休憩室も利用可能です）
	13:15～16:00	シンポジウム*3	9号館 メディアホール

*1 受付は本館1階です。名刺を2枚ご用意ください。1枚は受付時、ご提出いただきます。
もう1枚は受付時に渡す吊り下げ名札にご使用いただきます。

*2 この間、12:20～13:20に 本館1B11+1B12教室で 理事会を開催します。

*3 シンポジウムはオンラインで配信します。それ以外は会場現地開催のみです。

▼ 会場校 & 校舎

学校法人電子学園 日本電子専門学校 本館 および 9号館（メディアホール）

〒169-8522 東京都新宿区百人町1-25-4（JR総武線「大久保駅」南口から徒歩約2分）



本館

8F	181 AIシステム科実習室Ⅰ 182 AIシステム科実習室Ⅱ
7F	171 172
6F	161 情報システム開発科実習室Ⅰ 162 DXスペシャリスト科実習室
5F	151 セキュリティ実習室Ⅰ 152 153
4F	キャリアセンター オープンスペース
3F	職員室
2F	学生募集部
1F	総合受付 保健室
B1F	1B11 1B12 1B13

▶ 受付

本館



9号館

3F	931 CGワークステーションⅠ 932 CGワークステーションⅡ
2F	921 デジタルイメージスタジオⅠ 922 デジタルイメージスタジオⅡ
1F	
B1F	9B1 メディアホール

9号館

※ 会場に駐車スペースはありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

※ 会場近辺に飲食店が多数あります。昼食は随時、各自でお取りください。4階 休憩室もご利用いただけます。

▼ 日時

10月9日(金) 14:30～16:00

▼ 会場



日本アイ・ビー・エム株式会社 虎ノ門本社 IBM Innovation Studio

〒105-5531 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー

(東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」直結、銀座線「虎ノ門駅」A2出口直結)

▼ 内容

日本IBM 虎ノ門本社を訪問し、同社の先端技術体験施設「IBM Innovation Studio」を見学します。AIをはじめとする最新デジタル技術やソリューションの紹介・デモに加え、同社が提供する無償学習プログラム「IBM SkillsBuild」を体験します。また、職業教育・リスキリング・デジタル人材養成をテーマに、同社担当者との意見交換も予定しています。企業における先進的な技術活用や人材養成の実践に触れながら、職業教育の高度化や産学連携の可能性について考察する機会にしたいと考えています。

▼ 備考

- 定員18人 ※ 先着順で定員数到達次第、参加受付を締め切ります。
- 参加費無料。参加者はIBM SkillsBuildの事前登録・事前学習が必要です（別途個別案内）。

▼【分科会A】キャリア形成と職業への移行

開催日	会 場	司 会
10月10日(土)	本館 152 教室	坂口謙一（東京学芸大学）

■ 10:30～10:55

A1	担当	片山勝己（㈱ベルアージュ、放送大学、東広島市シルバー人材センター）
	論題	65歳再就職活動で学んだこと ——キャリアミックスの有効性と高齢期キャリア形成の再検討

■ 11:00～11:25

A2	担当	福石賢一（高知工科大学）
	論題	1930年代ケンブリッジ大学における女子就職委員会の創設 ——創設の経緯と初期の活動を中心に

■ 11:30～11:55

A3	担当	児玉美由紀（愛知淑徳大学）
	論題	航空会社における客室乗務員のプロティアン・キャリア形成 ——職務・活動領域の越境に着目して

▼【分科会B】諸外国の職業教育

開催日	会 場	司 会
10月10日(土)	本館 171 教室	佐野正彦（大阪電気通信大学） 西美江（関西女子短期大学）

■ 10:30～10:55

B1	担当	荒尾一彦（名古屋文理大学 短期大学部）
	論題	フランスの商業教育におけるコンピテンシーの育成 ——労働に関する法律・雇用の分野を通して

■ 11:00～11:25

B2	担当	○ 芦沢柚香（常磐大学） ○ 石嶺ちづる（愛知教育大学） [○：発表者]
	論題	米国オハイオ州における産業界と連携したCTEカリキュラム開発の特質 ——製造業分野を中心に

■ 11:30～11:55

B3	担当	程麗君（広島大学）
	論題	アメリカ合衆国のK-12キャリア・アンド・テクニカル・エデュケーション (CTE) における技術学教育をベースにしたSTEM教育に関する研究の システムティック・レビュー

▼【分科会C】地域・産業と中等教育

開催日	会 場	司 会
10月10日(土)	本館 172 教室	猪股歳之（東北大学）

■ 10:30～10:55

C1	担当	三羽光彦（芦屋大学）
	論題	近代日本における漁村教育に関する一考察——水産補習学校を中心として

■ 11:00～11:25

C2	担当	○ 李尙炫（忠南大學校） 鄭鑣燮（忠南大學校） 李炳郁（忠南大學校） [○：発表者]
	論題	韓国の中小企業と自治体・学校の連携を通じた地域相生の方策に関する研究——職業系高校の教員の認識に基づいて

■ 11:30～11:55

C3	担当	加藤敬之（愛知県立旭丘高等学校）
	論題	愛知県における高等学校普通科での科学技術教育の特質——スーパーサイエンスハイスクール事業の分析を通じて

▼【分科会D】専門職養成と教育課程

開催日	会 場	司 会
10月11日(日)	本館 171 教室	岡村慎一（学校法人YIC学院）

■ 09:00～09:25

D1	担当	渡部（君和田）容子（京都芸術大学）
	論題	助産師養成と産後ケア事業——鳥取県を対象に

■ 09:30～09:55

D2	担当	倉田研一（立命館大学 生存学研究所）
	論題	美容師養成高等教育化への問題点

■ 10:00～10:25

D3	担当	日高淳（国際文化教育総合研究所）
	論題	理容美容専門学校のカリキュラムマネジメントにおけるレリバンスに関する基礎的研究

▼【分科会 E】中等教育における職業教育制度

開催日	会 場	司 会
10月11日(日)	本館 172 教室	志田秀史（東京情報デザイン専門職大学）

■ 09:00～09:25

E1	担当	増田涼太（東京大学大学院）
	論題	中学校「職業・家庭科」成立過程の再検討 ——職業指導関係者の動向に着目して

■ 09:30～09:55

E2	担当	阿部英之助（大東文化大学）
	論題	N-E.X.T.ハイスクール構想からみる専門高校改革 ——改革先導校の動向を中心に

■ 10:00～10:25

E3	担当	○ 吉本圭一（東京情報デザイン専門職大学） ○ 稲永由紀（筑波大学 教学マネジメント室）	[○：発表者]
	論題	後期中等教育としての高等専修学校の制度的柔軟性に関する研究	

▼ 障害者教育訓練部会

日 時	10月10日(土) 13:30～15:00	会 場	本館 171 教室
テーマ	障害者教育訓練における福祉施策との連携		
講演者	朝日雅也（埼玉県立大学名誉教授）		
概 要	障害者教育訓練部会では、教育・労働・福祉の各分野を横断し、障害者および支援者の教育訓練に関する研究と実践の交流を促進することを目的としています。そのためには、教育・労働・福祉に各々が理解を深めていくとともに連携を模索する必要があります。そこで、雇用と福祉の連携に詳しく、職業リハビリテーション学会の会長等を歴任された朝日名誉教授をお招きし、講演会を開催いたします。障害関係に少しでもご興味のある方は、ぜひご参加いただけますと幸いです。		

▼ 企業内教育部会

日 時	10月10日(土) 13:30～15:00	会 場	本館 172 教室
テーマ	さまざまな企業内教育について考える（ラウンドテーブル）		
参加者	飯田 博（名古屋産業大学）、三宅章介（名古屋産業大学）、 高木弘恵（名古屋産業大学 学長）、倉田研一（立命館大学）、 田中卓也（育英大学・司会）		
概 要	企業内教育部会の今年度の第1回大会（2026年7月26日開催済、名古屋産業大学）において、企業内教育と通信教育（の課程）について考え、新たな人材育成の方法や課題についてギャラリーの参加者と共に考える機会を得ました。本大会の方でも、令和期を迎えた企業内教育の変わったこと、変わらないこととはどのようなことであり、人材育成に今後どのような影響を受けることになるのか、大学研究者を中心にさまざまな視点から議論を行っていくものである。またギャラリーの方からも忌憚のない自由な意見をお待ち申し上げます。		

▼ 高校職業教育部会

日 時	10月11日(日) 10:40～12:10	会 場	本館 171 教室
テーマ	高校職業教育の現状と課題		
提題者	藤田晃之（学会外ゲスト、筑波大学）、山田宏（職業教育調査会）		
概 要	日本の高校における職業教育は、地域の産業を支える上で極めて重要な役割を果たしてきたが、社会・経済の変化に伴い、大きな転換期を迎えている。生徒数の激減、専門教育の内容と産業界のニーズとの乖離など、高校職業教育を巡る問題が山積する一方で、産業界からは、即戦力となる人材の育成の場として依然期待が寄せられている。さらに、文部科学省の「マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）」等の施策や、学習指導要領改訂のための議論にみるように、高校職業教育は変革を迫られている。昨年度に引き続き、各専門（職業）学科の現状を把握した上で、諸課題を検討し、今後の高校職業教育の在り方について議論を行いたい。		

▼ 専修学校部会

日 時	10月11日(日) 10:40～12:10	会 場	本館 172 教室
テーマ	専門学校教育の成果を社会的に実証する評価フレームワーク ——産業界の期待と教育の接続を目指して		
提題者	板倉真紀（株式会社グッドニュース）		
概 要	専門学校教育の質保証において、卒業時の到達度だけでなく、卒業後の活躍や企業からの評価を教育改善にどう結び付けるかは、今後の重要課題である。本部会では、卒業生・企業 双方の評価に基づいて学習成果を可視化する取組の中間報告を起点にし、専門学校教育における質保証の視点、卒業生調査の意義と限界、社会との連携を踏まえた評価の在り方、教育改善への活用方法等について、参加者相互の討議を通じて今後の方向性を探る。		

▼ 日時・会場

10月11日(日) 13:15～16:00 9号館 メディアホール

▼ テーマ

職業教育学研究をめぐる共通感覚の形成に向けて（Ⅰ）

——比較研究アプローチの学術的意義と社会的意義——

▼ 趣旨説明

「職業教育学研究をめぐる共通感覚の形成に向けて」という共通テーマを掲げ、第7回大会から3回シリーズでのシンポジウムを開催します。これまでの研究の中から秀逸な研究成果を披露いただき、学術的・社会的意義の観点から改めて探究し、本学会の「職業教育」と「職業教育学」についての理解、「共通感覚」を拡げる議論を展開したいと考えております。本大会では「比較研究アプローチの学術的意義と社会的意義」をサブテーマとして、諸外国の事例に学ぶ比較研究アプローチに焦点をあてます。第1部では、シンポジストの皆様に職業教育を研究する対象国としてドイツ、米国、英国をとりあげ、比較研究アプローチとその学術的・社会的意義について紹介いただき、日本への示唆について話題提供をいただきます。第2部では、ディスカサントから論点を提示いただき、シンポジストだけでなく、本大会での比較研究アプローチによる自由研究発表者にも登壇いただき、ラウンドテーブル形式で共に対話を深めていきます。皆様と共に、界を越えた横断的な議論を深めることで、「職業教育学」の知を再構築し、本学会における「職業教育」と「職業教育学」に対する新たな共通認識が形成できる場となることを目指しております。

▼ シンポジスト

大重光太郎（獨協大学）

「ドイツの継続職業訓練政策のガバナンス研究」

横尾恒隆（横浜国立大学名誉教授）

「アメリカ職業教育史研究とそこから学ぶもの」

白幡真紀（仙台大学）

「イングランドにおける学習と訓練の公共性」 ※ 各副題略

▼ ディスカサント

吉本圭一（東京情報デザイン専門職大学客員教授）

▼ 司 会

渡辺達雄（金沢大学） 古賀稔邦（学校法人電子学園）

※ シンポジウムはオンラインでも配信されます。非会員にも無料公開されます。

▼ 総 会

日 時	10月10日(土) 15:10～17:00	会 場	本館 1B11+1B12 教室
備 考	○ 総会資料は当日配付予定です。 ○ 総会終了後、学会賞の贈呈式を執り行います。 同会場で実施するため、多くの皆様には是非ご参加いただきますよう、 宜しくお願い致します。		

▼ 懇親会

日 時	10月10日(土) 17:30～19:30		
会 場	ホテルローズガーデン新宿 別館2階 ローズルーム 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-1-3 Tel 03-3360-1533 https://hotel-rosegarden.jp/access/ 東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」 C12または1番出口 徒歩1～2分 JR・小田急線・京王線「新宿駅」 西口 徒歩10分		
食 事	洋食／立食ビュッフェ形式		
備 考	○ 参加には、事前申込と（大会参加費と別に）懇親会参加費が必要です （金額・支払方法は次頁に記載）。 ○ 大会会場（日本電子専門学校）から懇親会会場（ホテルローズガーデン新宿）へは 各自でご移動ください。徒歩10～15分です。		



▼ 参加費

大 会			懇親会		
	一 般	学生・院生		一 般	学生・院生
会 員	2000円	1000円	会 員	4000円	2000円
非会員	3000円		非会員	6000円	

※ 大会参加費および懇親会参加費は、参加申込時に「学会バンク」でご納付いただきます。

※ 上記金額は事前申込の場合です。当日申込の場合、当該申込者の会員／非会員を問わず、大会参加費・懇親会参加費はいずれも「非会員＆一般」の金額が適用されます。

▼ 参加申込

【申込受付期間】 2026年 8 月 24日（月）～ 9 月 25日（金）正午

大 会	会 員	https://gkb.jp/s/jsstvet/seminar/688	
	非会員	https://gkb.jp/visitor/seminar/688	
見学会 (企業視察)	会 員	https://gkb.jp/s/jsstvet/seminar/689	
	非会員	https://gkb.jp/visitor/seminar/689	
懇親会	会 員	https://gkb.jp/s/jsstvet/seminar/690	
	非会員	https://gkb.jp/visitor/seminar/690	

※自由研究発表 要旨原稿 提出期限： 9月12日（土）正午 （要旨原稿の仕様は、事務局から申込者に個別に案内します）

【提出先】 JSSTVET2026大会実行委員会事務局 jsstvet2026@denshi-core.org

▼ 留意事項

- 開催期間中、開場は、第2日（10月10日）本館、第3日（10月11日）本館＆9号館のみです。その際、本館4階に休憩室（80人程度収容可）を設けます。
- 参加者の宿泊について、大会実行委員会事務局等は手配しません。会場近辺（新宿駅周辺等）にビジネスホテル等は多数ありますが、利用客が多いため、各自で早めの手配をお願い致します。



日本職業教育学会 第7回（通算67回）大会 プログラム

発行日——2026年9月1日 初版発行

発行者——学校法人電子学園 電子学園職業教育研究開発センター JSSTVET2026大会 実行委員会

実行委員： 古賀稔邦（学校法人電子学園 電子学園職業教育研究開発センター センター長） 杉浦敦司（学校法人電子学園 日本電子専門学校 校長）
高橋陽介（学校法人電子学園 日本電子専門学校 学事部 部長） 羽鳥浩太郎（学校法人電子学園 電子学園職業教育研究開発センター
事務局長） 斗米俐王（日本電子専門学校 アニメーション研究科 2年） 田中吾連（日本電子専門学校 モバイルアプリケーション
開発科 2年） 金子栄鈴（日本電子専門学校 アニメーション研究科 1年） 菅谷乃愛（日本電子専門学校 アニメーション研究科 1年）
柳澤陽希（日本電子専門学校 高度情報処理科 1年） 宮岡早紀（合同会社学芸芸術総合研究所 代表室 秘書） 宋珠米（合同会社
学芸芸術総合研究所 調査員）

事務局： jsstvet2026@denshi-core.org
